

臨時会

7月13日

城山宅地

9区画造成へ

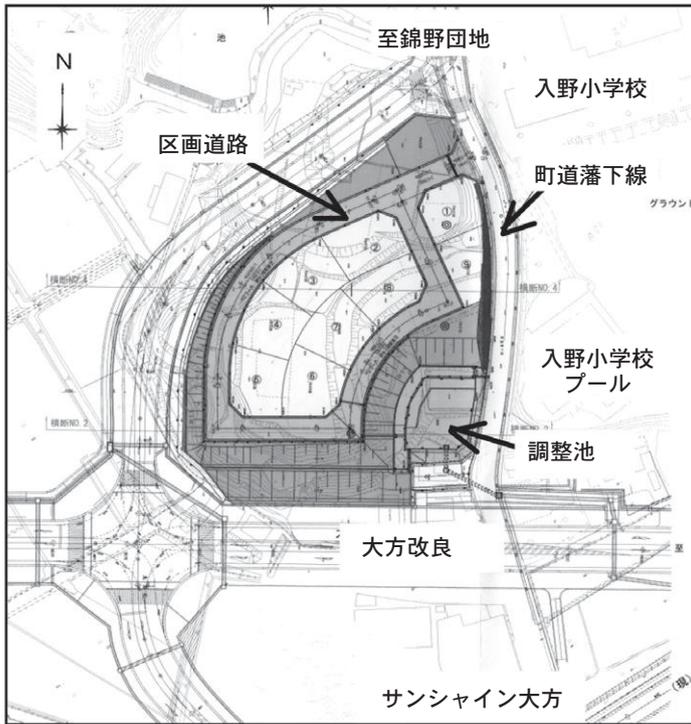
●城山宅地造成工事の請負契約の締結

造成地は、入野小学校横、町道藩下線の西側で、造成後の計画標高は約17m。宅地部分の総面積は2257㎡で9区画とし、1区画を約80坪で分譲予定としている。

区画道路は、入野小学校校舎横を出入り口とし、有効幅員6・0m、延長約198m。その他、公園、調整池、緑地及び法面施工や町道との取り合わせ箇所へのコンクリート擁壁などを整備する。

- 契約金額1億3795万円
- 契約先 黒潮町入野2584番地、西南綜合建設㈱
- 工期 平成29年7月14日から平成30年3月25日

可決(全員)



城山宅地造成工事の概要図

Q 森 治史議員

完成後の宅地の海拔高と、販売予定価格は、また、調整池の工事費の割合は。

合は。

A 金子まちづくり課長



海抜高は17mを計画。単価は、工事完了後、区画を決定した後、土地鑑定を行って決定するので、現時点では未定。また、調整池の工事費は全体の約27%。

Q 浅野修一議員

土質など、地盤の強度は大丈夫か。

A 金子まちづくり課長

土質は、上側が土砂で下が軟岩という土質になっている。この造成区域内で3カ所ボーリング調査を行い、推定だが軟岩が出ているので、岩盤的には問題ないと考えている。構造物については、宅地防災のマニュアルに基づき安定計算を行った。また、擁壁の

Q 中島 一郎議員

耐震設計は、基本的に特殊な条件で計画するものではないために、一般的な震度法により検討している。

今までの入札のあり方を見た時に、最低制限価格が非常に重要と思う。当町では、この最低制限価格が予定価格の10分の7から10分の9以内だが、この決定には工事内容などを考慮しているのか。

また、この事業は交付金事業だが、一般的な造成地より単価が安くなるのか。

A 松田 副町長



最低制限価格の基準は、設計金額の諸経費等

によって決定をしている。

内容は、県と同様に直接工事費の95%、共通仮設費の90%、現場管理の80%との基準を設けて算定している。実際、工事に際しては、業者の積算能力もあり、最低制限価格上限近くで落札をするということになっている。



造成中の城山宅地を入野小学校西側から(10月5日)

A 金子まちづくり課長
単価は、近隣の土地も参考にした土地鑑定の結果によって決定したい。

Q 藤本 岩義議員

この造成地は、津波による浸水は大丈夫か。

A 金子まちづくり課長

この城山の下付近の津波の想定高は、海拔高で約13m弱となっており、造成地の計画海拔高が17mなので、津波については問題ないと考えている。